長野高校（国際教養科）シラバス

学校番号	３２１

令和２年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術３」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン・工芸」、作品の意図、表現の工夫や効果を考える「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２ 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期		【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書で、社会に深く携わっている20名の人物を紹介し、私たちの社会と深く関わり合うことで現在の美術文化が支えられ、新しい表現が生まれていることを学ぶ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	学習活動の様子
	「手」と「HANDS」の色彩構成	【デザイン】 「手」の形と「HANDS」の文字を使って色彩構成をする。	○	○	○		a：美術の創造活動の喜びを味わい、創造活動に取り組もうとする。 b： 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 C：創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート
	環境についt考えよう	【デザイン】 ・環境保全に意識を持たせ、アピール出来る図案を表現させる。	○	○	○		a：テーマに沿って構想を練り、画面構成を効果的に生かしながら、表現を深めている。 b：形や彩を考え、創造的な表現を工夫している。 c：アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫している。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート

2学期	卒業制作	【絵画・彫刻】 【デザイン・工芸】 油絵、デザイン、立体、工芸の中から一つ選択して大作に挑む。 作品鑑賞	○	○	○	○	a：美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 b： 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c： 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 D：作品の表現の工夫などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート
3学期	銅版レリーフ	【工芸】 アイデアスケッチ はがき大の銅版に凹凸をつけ、半立体化してレリーフを作る。 腐食液で着色後、磨いて仕上げ、額装する。	○	○	○		a：美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、主体的に創造活動に取り組もうとする。 b：感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c：創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。